

DRAWMER

モニターコントローラー

CMC2

取扱説明書

Ver. 1.0



安全上のご注意

正しく安全にお使いになるため、ご使用前にこの「安全上のご注意」をよくお読みください。
また、お読みになった後も、いつでも手に取れる場所に保管してください。

1. 取扱説明書に記載されている電圧の電源コンセントに差し込んでください。
2. 液体の入った容器や、小さな金属物を機器の上に置かないでください。液体や金属が機器内に入り、火災や感電の原因となることがあります。
3. 電源コードの上に重量物（機器を含む）を置かないでください。電源コードが損傷し、火災や感電の原因となります。
4. 電源コードをヒーターの近くに置かないでください。融解して火災の原因になることがあります。
5. 電源コードを傷つけたり、曲げたり、ねじったり、伸ばしたり、加熱したりしないでください。電源コードが損傷し、火災や感電の原因となります。
6. 濡れた手で電源プラグを触らないでください。感電の恐れがあります。
7. 機器に水を入れたり、湿気の多い環境で使用しないでください。火災や感電の原因となります。
8. 次のような場所や環境で使用しないでください。
 - ・ 振動台や傾斜面のような不安定な所
 - ・ 高湿度にさらされたり、ほこりがたまる所
 - ・ 密閉された車内や直射日光が当たる所
 - ・ 蒸気、ストーブ、ボイラー、加湿器などの近く
9. 機器のカバーを開けないでください。感電の恐れがあります。修理やメンテナンスが必要だと思われる場合は、販売店にご相談ください。
10. 本製品を改造したり、変更しないでください。異常や火災、感電の原因となります。
11. 落雷が発生した場合は、速やかに電源スイッチを切り、電源コードを抜いてください。
12. アンプの出力ソケットにスピーカーを接続する際には、専用のスピーカーケーブルを使用してください。
13. 長期間ご使用にならない場合は、電源コードをコンセントから抜いてください。火災の原因となります。
14. 電源コードが破損した場合（切断されていたり、線がむき出しになっているなど）は、販売店から交換品を入手してください。そのまま使用を続けると、火災や感電の原因となります。
15. 万一、機器が破損したり、高所から落下したりした場合は、直ちに電源スイッチを切り、電源コードを抜いて、販売店にご連絡ください。火災や感電の原因となります。
16. 煙や匂いなどの異常があった場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源コードを抜いて、販売店にご連絡ください。火災や感電の原因となります。

はじめに

Drawmer CMC2は、MC2.1とMC3.1と同じ回路を採用した、低コスト、薄型、コンパクトなデスクトップ・モニターコントローラーです。ホームスタジオを主なターゲットとして開発され、よりコスト効率の高いソリューションを提供します。

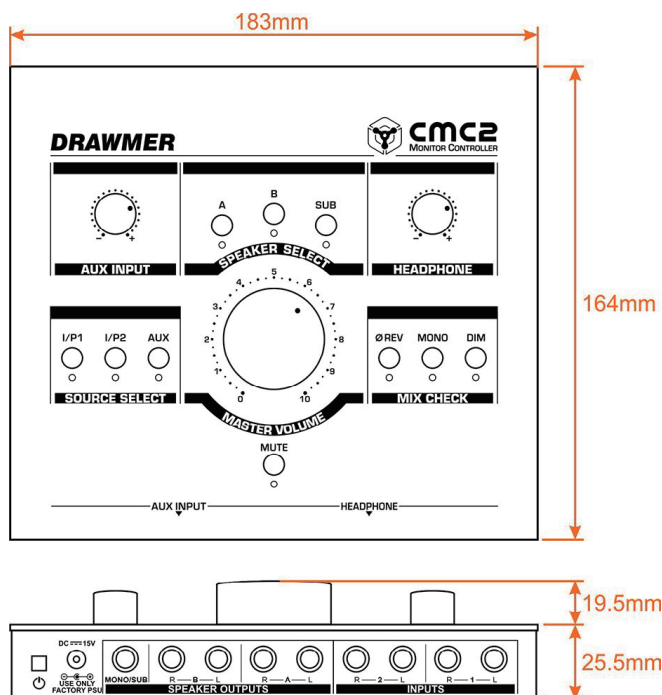
2つのバランスTRSフォン入力に加え、3.5mmステレオミニAUX入力を装備し、コントロールにより入力レベルを調整できます。出力には、2セットのモニターとサブウーファー、さらにヘッドホン装備し、個別にレベルをコントロールできます。位相反転、Mono&DIMなど基本的な機能を持ちながら、全体を薄型にしてフットプリントを18×16cmに抑えています。

Drawmer社は、モニターコントローラー全ての機種において「録音した通りに正確に聞こえる」というポリシーを踏襲して設計しています。アクティブ回路を採用し、オーディオ信号を忠実に再現、同時にパッシブ回路が持つ多くの問題を取り除き、その結果、モニターコントローラーの精度は信頼できるものになっています。

主な特徴

- 超低ノイズ、高い再現性を実現する回路設計
- ソーススイッチにより3つの入力（TRSフォン×2、3.5mmステレオミニ×1）を様々な組み合わせでアクティブにすることが可能
- スピーカー出力はバランス型ステレオ2系統、モノラルスピーカー /サブウーファー専用出力1系統を装備。それぞれ個別、同時、A/B比較など、任意の組み合わせで切り替え可能
- 大型ボリュームノブには専用に設計した並列クアッド・ポテンシオメーターを搭載し、優れたチャンネルマッチングとスムーズな操作性を実現
- 前面にレベルコントロール付きヘッドホン出力と、3.5mmステレオミニ入力を搭載。MP3プレーヤーやスマートフォンなどを接続可能
- 位相反転、Mono、DIMに加え、アクセスしやすいMuteスイッチなどの総合的なミックスチェックが可能な機能を搭載
- 盗難防止用スロット搭載
- 全体を薄型にして、かつフットプリント幅18cm奥行16cmを実現
- スタジオでの使用に耐える堅牢でスタイリッシュなシャーシ

設置



本製品は、自立型のデスクトップ・ユニットとして設置します。操作性、接続性、そして音質において妥協することなく、可能な限り小型化を実現しました。トップにコントロールつまみ、前面にヘッドホン出力と3.5mmステレオミニ入力、リアにその他の入出力と電源を用意。フットプリントは幅18cm×奥行16cmに抑えました。

電源接続

本製品には、電源アダプターが付属しています。安全のため、付属の電源アダプター以外のものは使用しないでください。もし、電源アダプターに異常が見られた場合、販売代理店に連絡してください。

注意

電源アダプターを接続する前に、全てのノブが反時計回りに最小の位置まで回っていることを確認してください。また、リアパネルの電源スイッチがOFFになっていることを確認してください。

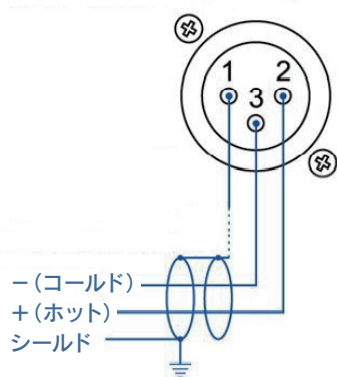
電源スイッチ



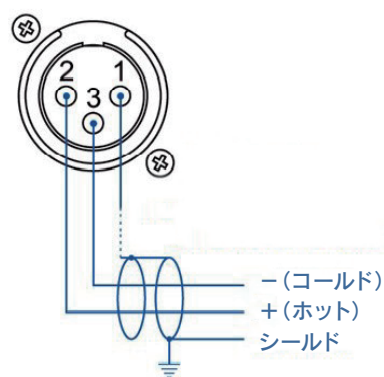
電源コネクター

オーディオ接続

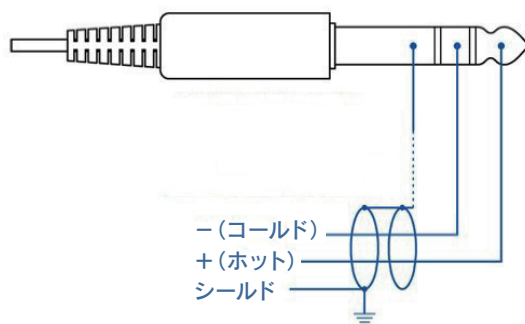
XLR出力（オス）



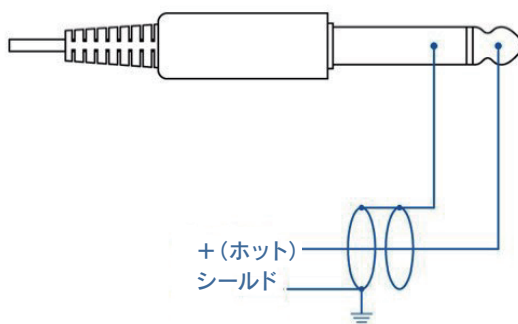
XLR出力（メス）



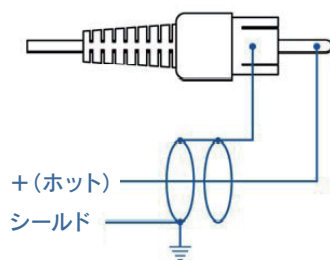
TRSフォン・バランス（モノラル）



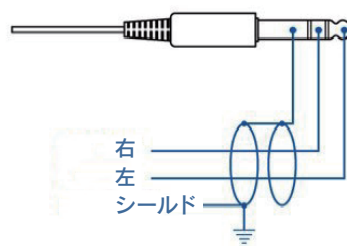
TRSフォン・アンバランス（モノラル）



RCA（フォノ）



3.5mmステレオミニ



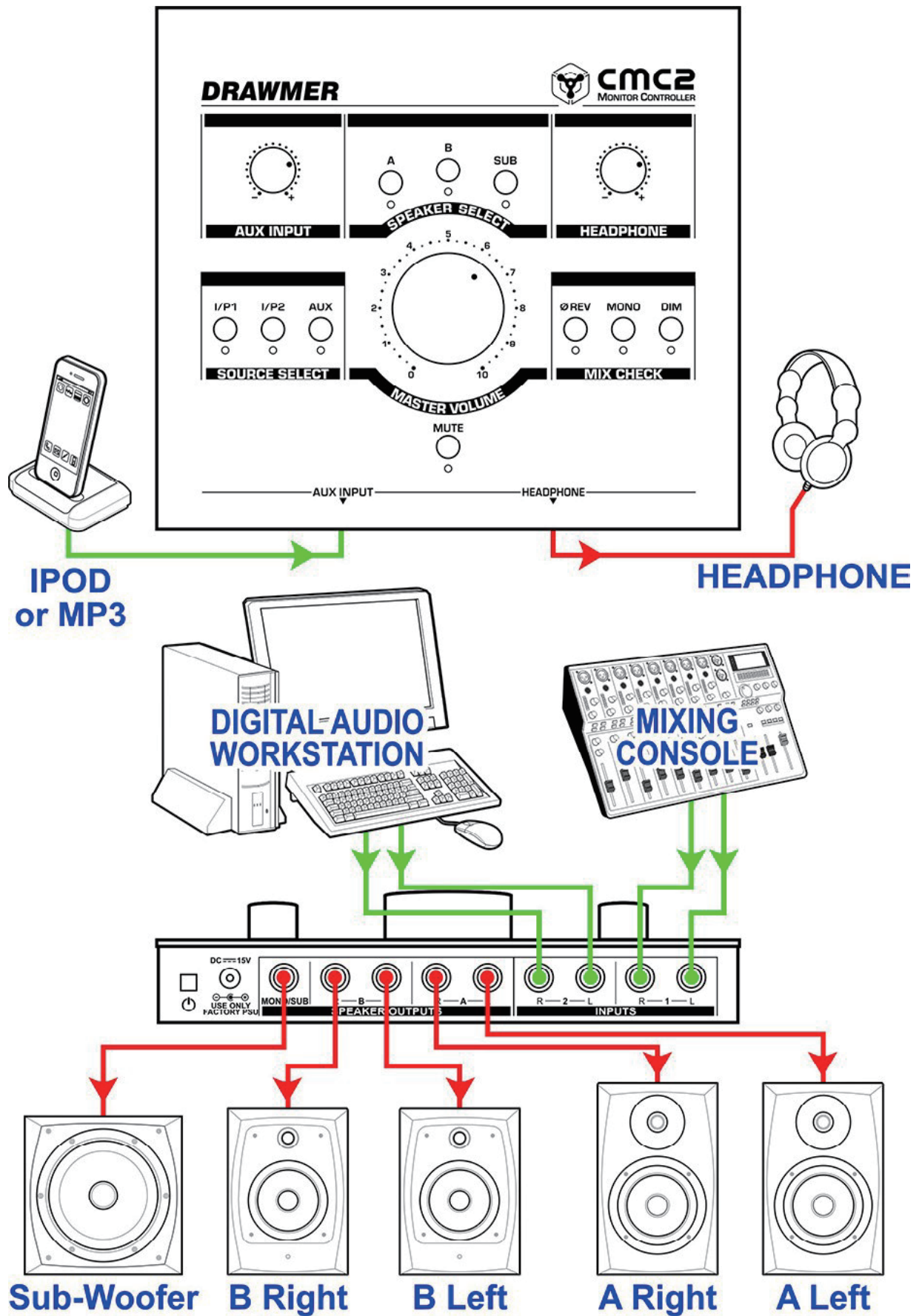
電波干渉

テレビやラジオの送信機の近くなど、電波干渉にさらされる場所で使用する場合は、バランス接続を使用してください。信号ケーブルのシールドは、XLRコネクタのシャーンシに接続し、ピン1に接続しないようにしてください。本製品はEMC規格に適合しています。

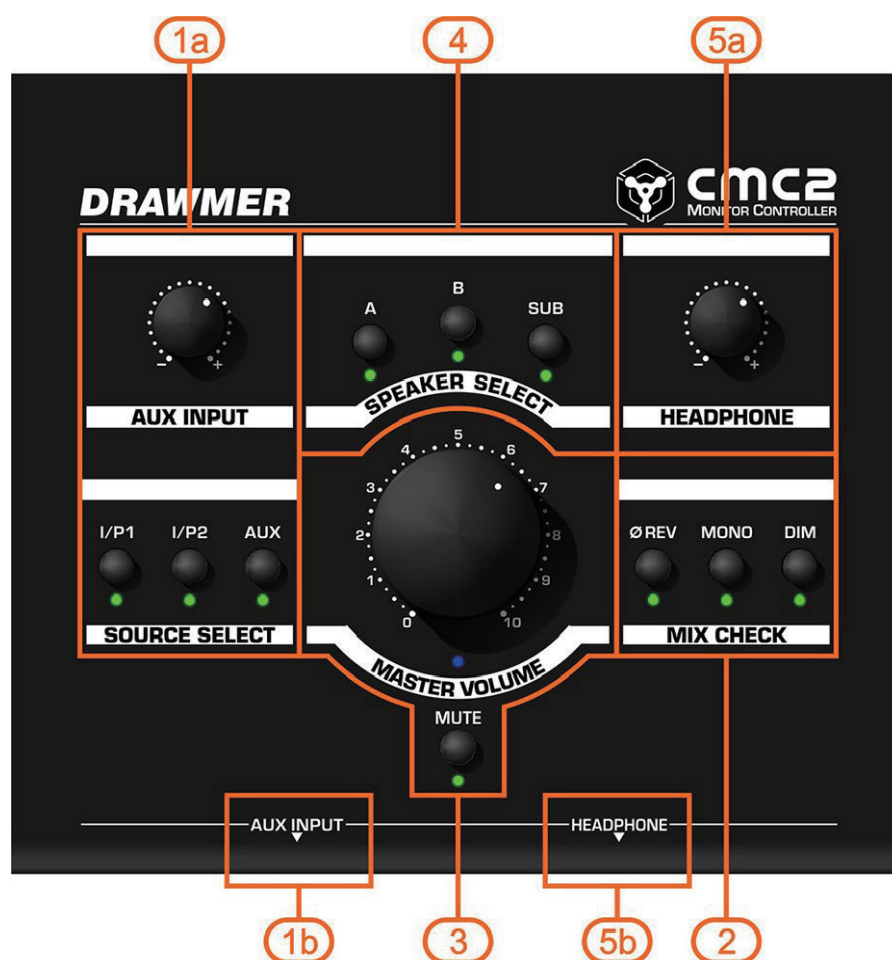
グラウンドループ

グラウンドループの問題が発生した場合、主電源のアースを切らずに、出力と「パッチベイ」をつなぐケーブルの片方の端のシールドを外してみてください。このような措置が必要な場合は、バランス接続を推奨します。

接続ガイド



各部の名称と役割



① SOURCE SELECT

音源としてAUX(1b)、I/P1、I/P2(1a)を選択します。音はスピーカー(⑦)とヘッドホン(5b)から聴けます。各スイッチは、個別に、または同時に、任意の組み合わせでON/OFFできます。同時にONした場合、それぞれの信号はミックスされて1つのステレオ信号となります。

I/P1、I/P2(1a)

入力に対して個別のレベル調整機能を備えていないため、ソース側でレベルマッチングを行う必要があります。

AUX I/P(1b)

MP3プレーヤー、スマートフォンなどを接続し、コントロールノブ(1a)によりシステム音量に合わせて音量を調整できます。

②MIX CHECK

Phase REV

左チャンネルの信号の極性を反転させます。主に、ミックスやレコーディングで発生した位相の問題（フェイズキャンセルやアンバランスなステレオ信号など）を明らかにするために使用します。スイッチを切り替えると、位相の問題がより明確になり、識別が容易になります。

Mono

このスイッチをアクティブにすると、左右のステレオ信号が1つのモノラル信号にミックスされます。オーディオのテストでは、信号をステレオで聴くだけでなく、モノラルでも聴く必要があります。ミックスの問題点を把握するのに役立つだけでなく、放送局や携帯電話など、特殊なアプリケーションに使用する場合のテストにも役立ちます。

Dim

このスイッチをアクティブにすると、出力レベルが20dB減衰し、ノブを回すことなく、音量を下げることができます。

③MONITOR VOLUME

Master Volume

スピーカー出力に対するステレオチャンネル信号レベルを調整します。モニターA、B、Mono/Subの音量にのみ影響し、ヘッドホンの出力には影響しません。ボリュームノブの回路設計には、専用に設計したクアッド・ポテンシオメーターを採用し、優れたチャンネルマッチングと滑らかな操作感覚を実現。Off（-無限大）から+6dBのゲイン幅を確保しています。本製品の回路は信号レベルを減衰させるだけでなく増加させることができます。通常は静かな曲の中にある低レベルのノイズや不要なハーモニクスなど、ミックス内の微妙な問題をより明確にし、解決に利用できます。

注意

本製品の電源を切る前に、ボリュームをできるだけ小さくすることをお勧めします。電源を入れたときに急に音量が上がり、スピーカーや聴力にダメージを与えないようにするためです。

また、ボリュームノブを回転させるとき、両端に無理な力を加えると、ポテンシオメーターを破損する恐れがあります。

Mute

両方のチャンネルをカットします（緊急時に特に有効）。

注意

ミュートは、ヘッドホン(5b)の出力に影響しません。コントロールルームでスピーカーをミュートし、会話中でも、ヘッドホンを使ってオーディオを編集することができます。

④SPEAKER SELECT

3つのスイッチで、スピーカー出力A、B、SUBを選択します(⑦)。

各スイッチは個別または同時に、また任意の組み合わせで操作でき、さまざまなモニターセットアップ間のA/B比較を行うのに最適です。例えば、スピーカーAとBを比較する場合、Aがアクティブな状態でAとBの両方のスイッチを押すと、出力Bがアクティブに切り替わり、もう一度押すと元の設定に戻ります。必要に応じて、この方法は3つの出力すべてに使用できます。

サブウーファーを出力Subに接続し、出力AとBから高域を出力、AとBのスイッチを同時に押し、Subを常にアクティブにしておけば、2つのモニターのA/B（この場合はA+Sub/B+Sub）を比較することが可能です。

⑤ヘッドホン

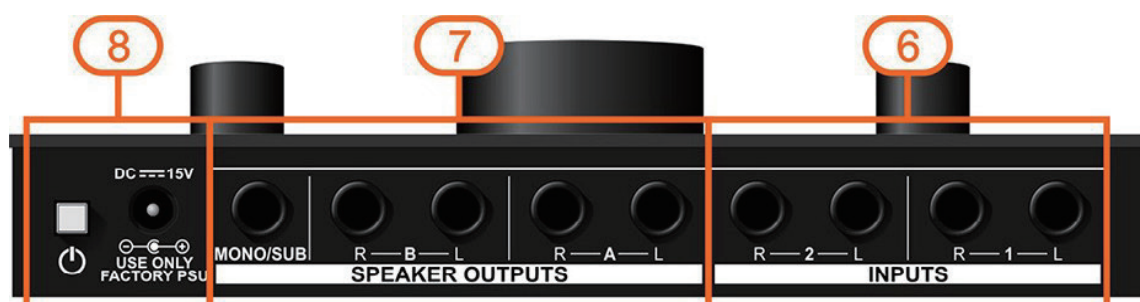
本製品は、前面にヘッドホン出力(5b)(TRSフォン)を備えており、専用のアンプとレベルコントロールを搭載しています。ヘッドホン出力はメインボリューム(③)の影響を受けません。ヘッドホンのレベルコントロールは、メインコントロールと同じ並列クアッド・ポテンシオメーターを搭載しており、優れたチャンネルマッチングとスムーズな操作性を実現しています。

注意

本製品の電源をON/OFFする前に、端子からヘッドホンケーブルを抜いてください。

モニターする場合、ヘッドホンのレベルを下げてからヘッドホンを差し込み、希望するリスニングレベルまで上げてください。これらの対策により、聴覚への影響を減らし、ヘッドホン・ドライバー回路を保護できます。

また、プロ用ヘッドホンのために設計された高品質な回路を使用しているため、一般的なイヤホンやスマートフォン用など、民生品向けのヘッドホンの使用には注意が必要です。



⑥INPUTS

本製品には3つの入力端子があります。入力ソースはSourceスイッチ(1a)により切りかえます。

I/P1、I/P2(バランスTRSフォン)

AUX(3.5mmステレオミニ、フロントパネル1b)

注意

電源投入時および電源切断時にノイズが発生しないように、タイマー式リレー保護回路を搭載しています。安全のため、必ず付属の電源アダプターを使用してください。

注意

リアパネルの電源スイッチがONの状態、電源アダプターを接続しないでください。

⑦OUTPUTS

A、B(バランスTRSフォン)、MONO(バランスTRSフォン)モノラルスピーカー/サブウーファー用
各出力はスピーカー・スイッチ(④)で選択し、個別または同時に、また任意の構成で作動させることができます。

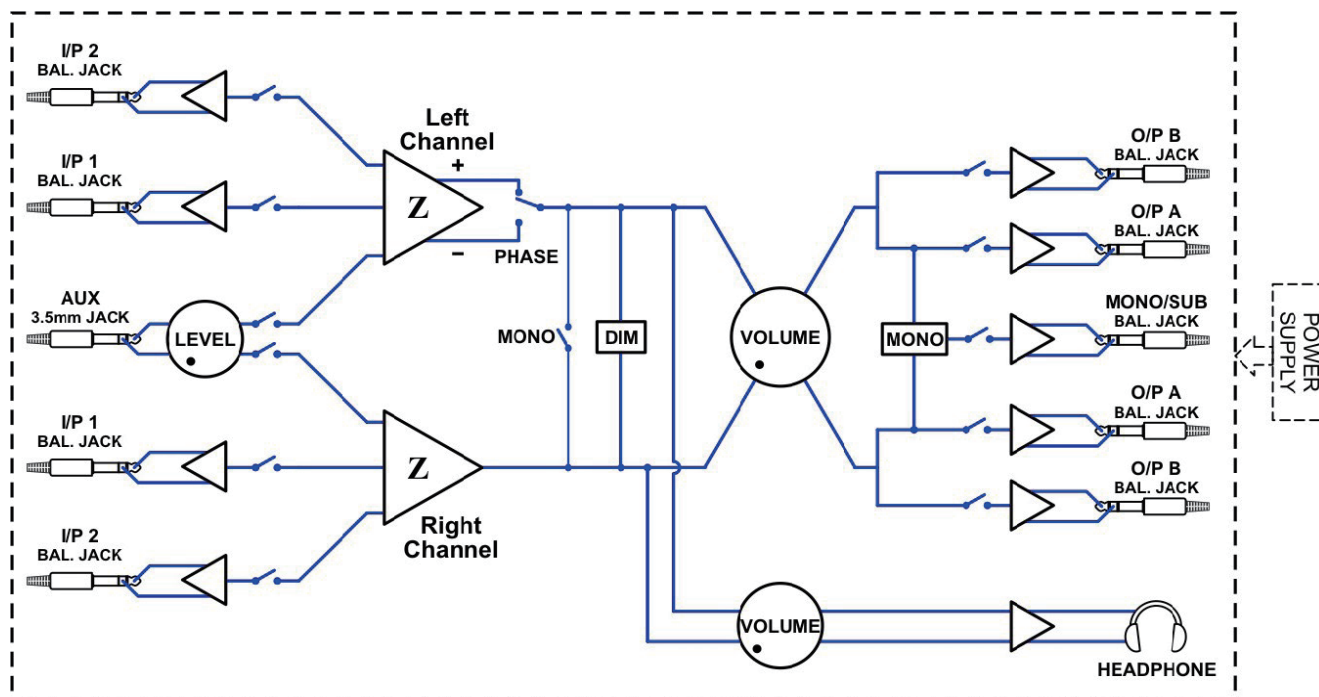
⑧POWER

付属の電源アダプターを接続します。

仕様

最大入力レベル	21 dBu
最大出力レベル	21 dBu (クリッピング前)
ダイナミックレンジ	115 dB@ユニティゲイン
クロストーク	L/R @ 1 kHz >80 dB
THD+ノイズ	0.002 % (0dBu入力@ユニティゲイン)
周波数特性	20 Hz ~ 20 kHz +/− 0.2 dB
位相特性	20 Hz ~ 20 kHz +/− 2 度 (最大)
本体寸法 (D×W×H)	164 × 183 × 45 mm コントロール、電源ソケット、脚を含む
質量	1.1 kg

BLOCK DIAGRAM



DRAWMER
cmc2
 COMPACT MONITOR CONTROLLER